

\* 2023年 4月改訂  
2019年 2月全面改訂

炭酸水素ナトリウム不含  
**\* アクディディア™ 199培地**  
\* AccuDia™ Medium 199

\* —— 開発の経緯および特徴 ——

アクディディア™ 199培地はMorgan, MortonおよびParker (1950)の合成培養液を、弊社が特殊な製法により作成した粉末培地です。

本培地はもっとも早く発表された組織培養用合成培地の一つで、始めはニワトリ・エンブリオ組織の初代回転培養を使用し、細胞の生存を指標に検討して得たものです。

本培地は各種のアミノ酸、ビタミン、核酸成分と小数の中間代謝物その他を含んでいます。本培地単独では細胞の増殖は期待できませんが、ポリオ・ワクチンその他のウイルス研究で細胞の維持培養液として広く利用されています。また血清を加えると、増殖培地として初代培養にさわめてすぐれています。

アクディディア™ 199培地は、従来の液体培地の欠点である成分の分解・変質を防ぎ、長期の保存を可能としたもので、常に使用目的に応じた量だけを簡単に使用できます。

—— 成分組成 ——

本品 1 L 分 (9.5 g) 中

塩化ナトリウム	6,800 mg
塩化カリウム	400 mg
塩化カルシウム(無水)	200 mg
硫酸マグネシウム(無水)	97.7 mg
リン酸二水素ナトリウム(一水和物)	125 mg
硝酸鉄(Ⅲ)(九水和物)	0.72 mg
酢酸ナトリウム	50 mg
アデノシン5'-三リン酸二ナトリウム	1 mg
ブドウ糖	1,000 mg
L-アルギニン塩酸塩	70 mg
L-ヒスチジン塩酸塩水和物	21.9 mg
L-リジン塩酸塩	70 mg
L-トリプトファン	10 mg
L-フェニルアラニン	25 mg
L-メチオニン	15 mg
L-セリン	25 mg
L-トレオニン	30 mg
L-ロイシン	60 mg
L-イソロイシン	20 mg
L-バリン	25 mg
L-グルタミン酸	66.8 mg
L-アスパラギン酸	30 mg
L-アラニン	25 mg
L-プロリン	40 mg
L-ヒドロキシプロリン	10 mg
グリシン	50 mg
L-グルタミン	100 mg
L-シスチン	20 mg
L-チロシン	40 mg
L-システイン塩酸塩水和物	0.11 mg
ρ-アミノ安息香酸	0.05 mg

D-ビオチン	0.01 mg
パントテン酸カルシウム	0.01 mg
葉酸	0.01 mg
myo-イノシトール	0.05 mg
ニコチン酸	0.025 mg
ニコチン酸アミド	0.025 mg
ピリドキサル塩酸塩	0.025 mg
ピリドキシン塩酸塩	0.025 mg
リボフラビン	0.01 mg
チアミン塩酸塩	0.01 mg
ビタミンAアセテート油	0.1 mg
L-アスコルビン酸	0.05 mg
リン酸α-トコフェロール二ナトリウム	0.01 mg
カルシフェロール	0.1 mg
2-メチル-1,4-ナフトキン	0.01 mg
重酒石酸コリン	0.9 mg
2-デオキシ-D-リボース	0.5 mg
アデニン	10 mg
グアニン塩酸塩	0.36 mg
ヒポキサンチン	0.3 mg
チミン	0.3 mg
ウラシル	0.3 mg
キサンチン	0.3 mg
AMP-2Na	0.2 mg
D-リボース	0.5 mg
グルタチオン	0.05 mg
コレステロール	0.2 mg
ポリソルベート80	5 mg
フェノールレッド	6 mg

別に添加すべきもの

炭酸水素ナトリウム	適量
-----------	----

—— 使用方法 ——

本品 9.5g を蒸留水に溶解し、全量を 1,000mL とします (加熱厳禁)。炭酸水素ナトリウムを適量加え (1.3~2.2g を加えた場合、5%CO<sub>2</sub>ガス下、37°Cでの pH は 7.1~7.4)、溶解させたのち、直ちにろ過滅菌します。あらかじめ CO<sub>2</sub>ガスで pH を下げてからろ過すれば過度の pH の上昇を防ぐことができます。すぐに使用しない場合は、密栓して冷暗所 (2~10°C) に保存します。目的に応じて適量の血清を加えます。

—— 使用上または取扱い上の注意事項 ——

細胞培養用培地は研究用試薬であり、体外診断薬ではありません。また、ヒトまたは動物の治療に用いるものではありません。

1. 使用上の注意事項

1) 本品には、L-グルタミンが含まれており、高圧蒸気滅菌はできません。

2. 一般的な注意事項

1) この添付文書をよく読み、記載された使用方法に従って使用してください。

さい。

- 2) 使用期限が過ぎた製品は品質を保証できませんので使用しないでください。
- 3) 容器の破損、培地に異物が混入したものは使用しないでください。
- 4) 粉末培地の開封後はなるべく早く使用してください。保存する場合は密栓して汚染、吸湿等に注意してください。

### 3. 危険防止上の注意事項

- 1) 培地・試薬などが目や口に入った場合には、水で十分に洗い流し、医師などに相談し、指示を受けてください。
- 2) 検体に接触した器材、培地等は感染の危険性があるものとして取扱ってください。

### 4. 廃棄上の注意事項

使用後の培地・試薬、器材等はオートクレーブ等で滅菌処理したのち、廃棄物に関する規定に従って医療廃棄物または産業廃棄物等に区別して処理してください。

## ——— 貯法・使用期限 ———

### [ 貯 法 ]

密栓して乾燥した冷暗所（2～10℃）で保存してください。

### [ 使用期限 ]

製造後1年間。  
ラベルに表示してあります。

## \* ——— 包装単位 ———

アキュディア™ 199培地 100 g…………… Code 05909

## ——— 主要文献およびお問い合わせ先 ———

### [ 主要文献 ]

- 1) Morgan, J. F., et al : Proc. Soc. Exp. Biol. Med., **73**, 1～8, 1950.
- 2) Morton, H. J., : In Vitro, **6**, 89～108, 1970.

### \* [ お問い合わせ先 ]

〒110-0005 東京都台東区上野 3-24-6  
島津ダイアグノスティクス株式会社 カスタマーサポート担当  
電話：03(5846)5707

\* 製造販売元

**島津ダイアグノスティクス株式会社**

東京都台東区上野 3-24-6 〒110-0005 TEL 03(5846)5611 (代)